

<金標準、関税の伴うショートポジションの解消が続く・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領が選挙公約で米国の輸入品に一律 10%の関税を課すとの発言を受け、金も輸入品であり、関税の対象になる可能性が高く、市場は関税が発動されると LME と NY 市場の裁定取引が難しくなる懸念を受け、ロンドンの現物市場から NY 市場へ関税発動前に現物を移行させている。そのため NY 市場ではショートポジションが急激に解消されており、NY 金は昨年の高値 2801 ドルに迫る 2794.8 ドルまで高値を試している。

ただトランプ大統領は FOX ニュースのインタビューでは、「できれば中国に対し関税を賦課したくない」との考えを示し、トランプ氏は引き続き包括的な措置を警告している中国に対しあらためてハト派的な姿勢を打ち出している。しかし関税の低減に伴うリスク緩和でも買われるなど、金価格は高値追いに変わりない様に思える。また日銀は政策金利を 0.25% 引き上げたが、市場に強力なシグナルを送っていたことが功を奏した形で円高の動きは抑制されるなど、金標準先物も高値追いが続く可能性は排除できない情勢に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACA が上昇し、シグナル切り上げている。RCI では短期と、長期が 92%以上を維持している。そのためオシレーターは強気の継続を示唆するなど強気基調が継続した動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,100,000 円(2025 年 1 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2025 年 1 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>